

「このとり9号機のロケット打ち上げを目視」

桑田直宏

天文現象ではないですが、5月21日午前2時31分に打ち上げられたロケットの打ち上げを兵庫県から見ることができました。

きっかけは、播磨自然高原に定住されている知人が、「ここからロケットの打ち上げが見えるよ。」と教えてくれたことからでした。

いろいろ調べていくと、ロケットの打ち上げは昼間だけでなく、夜間にもあることを知りました。地図アプリで調べると、宇宙センターのある種子島は播磨自然高原からは高松市の少し西の方向にあります。種子島は兵庫県からはかなり遠いので、ロケットの打ち上げといってもそんなに高くは見えないだろうと思い、高原内をロケハンして瀬戸内海や高松市街が

望める場所を見つけておきました。

このとり9号機搭載のH2Bロケットの打ち上げ計画が発表され、5月21日の午前2時30分となりました。念願の夜の発射です。その日はたまたま仕事もオフであり、天気さえ良ければ見えると確信をもって準備をしました。



当日の夜は四国や太平洋側は快晴、兵庫県南部はなんとか晴れ、北部は曇りで微妙な天気になりました。現地に2時ごろに到着、急いでカメラをセッティングし、ネットの実況中継を見ながら待ちました。雲は結構あるのですが、さそり座や射手座付近はよく見えていました。

ロケットの発射は天候や機器の不調により、しばしば延期されるようですが、今回は予定通りにカウンドダウンが始まりました。ロケットの点火を確認してカメラは3分露出で撮影を開始しました。同時に肉眼で地平線あたりを注意していると、すぐに小さな光が上昇していくのが見えました。防振双眼鏡を向けると、ロケットから炎が出ているのがわかりましたが、ほんの数秒で雲の中に消えてしまいました。ワクワクできたイベントでした。

データ：キヤノン R レンズ 24-105 mm F4 35 mmで使用 ISO800 露出3分

街明かりは高松市街です。その西側の四国山脈のところにある光跡がロケットです。